



第 13 回 DBJ サステナビリティボンド資金使途報告書(発行日 2022 年 9 月 22 日)

DBJ は、DBJ サステナビリティボンドフレームワーク(以下、「フレームワーク」)に基づき、2022 年 9 月 22 日付で第 13 回 DBJ サステナビリティボンドを発行しました。

■フレームワーク及びフレームワークに対するセカンドパーティーオピニオン

- フレームワーク及びフレームワークに対するセカンドパーティーオピニオンについての詳細は下記リンクをご確認ください。

DBJ サステナビリティボンドフレームワーク

<https://www.dbj.jp/pdf/ir/credit/sri/framework.pdf>

セカンドパーティーオピニオン(認証機関:ISS ESG)

<https://www.dbj.jp/pdf/ir/credit/sri/latest-opinion.pdf>

- DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金は、以下のカテゴリーから構成される適格ファイナンス(フレームワークの 4.1(調達資金の使途)にて定義)のいずれかに充当されることとしております。

【DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金に充当可能なプロジェクトカテゴリー】

適格カテゴリー	プロジェクトカテゴリー
気候変動への対応 / 気候変動の緩和 (グリーン適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none">➤ グリーンビルディング➤ 再生可能エネルギー➤ クリーンな輸送➤ エネルギー効率・DBJ 環境格付融資
災害対応 (ソーシャル適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none">➤ 雇用創出及び社会経済的危機に起因する失業の防止又は軽減のためのプログラム➤ 手ごろな価格のベーシックインフラ- 送電網の改修 (エネルギー効率・エネルギー効率の高い送配電網)➤ 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ BCM 格付融資
ヘルスケア・社会福祉 (ソーシャル適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none">➤ 手ごろな価格の住宅➤ 必要不可欠なサービスへのアクセス - ヘルスケア➤ 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ 健康経営格付融資

■第13回 DBJ サステナビリティボンド資金使途報告(概観)

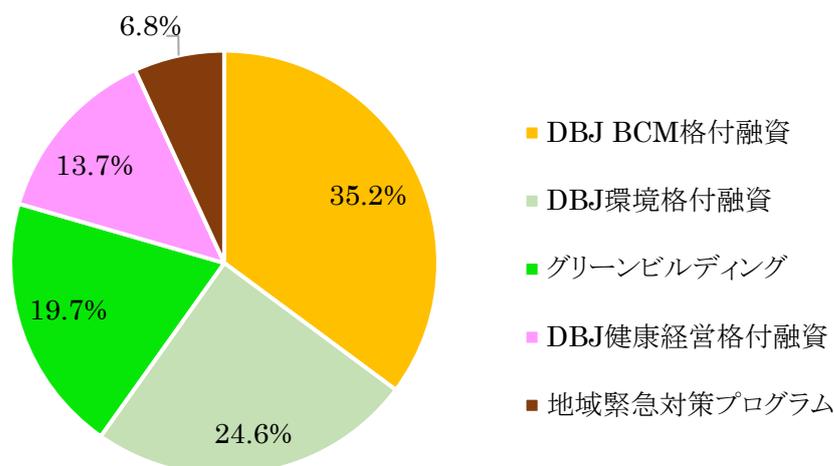
- 第13回 DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金は、下記5つのプロジェクトカテゴリーに充当を完了しております(2023年6月19日時点)。プロジェクトカテゴリー毎のアロケーション比率については下記パイチャートをご確認ください。
- 第13回 DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金は、発行日時点(2022年9月22日時点)で既に実行済みの投融資に充てており、リファイナンス比率は100%となっております。
- 未充当金は、現金又は現金同等物で管理することとしておりますが、第13回 DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金の未充当額は存在しておりません。

※調達資金の管理についてはフレームワークの4.3(調達資金の管理)をご確認ください

【第13回 DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金を充当したプロジェクトカテゴリー】

適格カテゴリー	プロジェクトカテゴリー
気候変動への対応 / 気候変動の緩和 (グリーン適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ グリーンビルディング ➤ エネルギー効率・DBJ 環境格付融資
災害対応 (ソーシャル適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 雇用創出及び社会経済的危機に起因する失業の防止又は軽減のためのプログラム - 地域緊急対策プログラム ➤ 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ BCM 格付融資
ヘルスケア・社会福祉 (ソーシャル適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ 健康経営格付融資

プロジェクトカテゴリー毎の
発行代わり金アロケーション比率



■第13回 DBJ サステナビリティボンド資金使途報告(詳細)

- 第13回 DBJ サステナビリティボンドに充当したプロジェクトカテゴリーについての詳細は下記の通りです。

① 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ BCM 格付融資

- DBJ BCM 格付融資は、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定する「BCM 格付」の手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

- セクター毎の案件数

製造業	5 件
電気・ガス・熱供給・水道業	4 件
運輸業、郵便業	1 件
小売業	1 件
物品賃貸業	1 件
合計	12 件

認証取得年月	2019/9~2021/9
--------	---------------

② エネルギー効率- DBJ 環境格付融資

- DBJ 環境格付融資は、環境経営への取り組みが優れた企業を評価・選定する「環境格付」の手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

- セクター毎の案件数

製造業	13 件
電気・ガス・熱供給・水道業	1 件
小売業	2 件
物品賃貸業	2 件
合計	18 件

認証取得年月	2019/10~2022/7
--------	----------------

➤ 対象企業例

取引先	カゴメ(株)
本社	愛知県名古屋市
業種	製造業
認証取得時期	2022年
環境格付	Aランク
融資通貨	円
URL	https://www.dbj.jp/topics/dbj_news/2022/html/20220729_203963.html

【評価ポイント】

- (1) 地球温暖化防止、資源の有効活用、持続的農業の推進などの幅広い環境関連のテーマについて、国内外のグループ会社も含めて2025年までの計画や目標を設定し、中期的な視点での環境経営を推進している点
- (2) 「畑は第一の工場」との思想のもと、農産品や栽培方法について「カゴメ使用農薬指針」などの独自の基準を設定しつつ、生産者への栽培指導の実施に加えて土着天敵を活用して農薬使用量を抑制する新たな農法開発に取り組むなど、生物多様性に配慮した持続可能なサプライチェーン構築に注力している点
- (3) 持続的な成長を目指して、社内外の環境変化に伴うリスクと機会を考慮しながらマテリアリティの特定や見直しを実施していることに加え、プラントベースフードやスマートアグリ事業など、新たな価値を創造するビジネスモデルへの転換に向けたオープンイノベーションを推進している点



100%リサイクル PET 素材を使用
環境に配慮した容器のトマトジュース



営農指導員がデバイスを使い、生産者に指導している様子

③ グリーンビルディング

③-(1) DBJ Green Building 認証制度 において3つ星、4つ星又は5つ星評価を取得した建物に対する新規投資及びリファイナンスへの投融資資金

- DBJ Green Building 認証とは、「環境・社会への配慮」がなされた不動産とその不動産を所有・運営する事業者を支援する取り組みとして2011年に創設された認証制度です (DBJ Green Building 認証についての詳細は、リンク(<http://igb.jp/>)をご覧ください)。

案件数	3件
認証取得年度	2020~2022年度

③-(2) Global Real Estate Sustainability Benchmark (グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク、GRESB) の「グリーンスター」評価を獲得した企業、建物、不動産又はREITに対する新規投資及びリファイナンスへの投融資資金

- GRESB についての詳細は下記リンクをご確認ください。

<https://gresb.com/>

案件数	6件
認証取得年度	2022年度

③-(3) CASBEE 又は BELS の上位3段階の評価を取得した建物に対する新規投資及びリファイナンスへの投融資資金

- CASBEE 及び BELS についての詳細は下記リンクをご確認ください。

CASBEE

https://www.ibec.or.jp/CASBEE/CASBEE_outline/about_cas.html

BELS

<https://www.hyokakyokai.or.jp/bels/info.html>

案件数	CASBEE S ランク:3件(物流) CASBEE A ランク:7件(物流)
認証取得年度	2020~2022年度

④ 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ 健康経営格付融資

➤ DBJ 健康経営格付融資は、従業員の健康や働き方への配慮に関する取り組みに優れた企業を評価・選定する「健康経営格付」の手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

➤ セクター毎の案件数

製造業	3 件
卸売業	1 件
小売業	2 件
物品賃貸業	1 件
合計	7 件

認証取得年月	2019/9~2022/4
--------	---------------

➤ 対象企業例

取引先	(株)オートバックスセブン
本社	東京都江東区
業種	小売業
認証取得時期	2022年
環境格付	Aランク
融資通貨	円
URL	https://www.dbj.jp/topics/dbj_news/2022/html/20220428_203815.html

【評価ポイント】

- (1) 長期ビジョン「2050 未来共創」の実現に向けたマテリアリティのひとつ「成長し続ける組織・人材」に健康経営を位置づけ、トップマネジメントのリーダーシップのもと、グループ会社も含めながら企業価値向上を見据えて健康経営を推進している点
- (2) 心身の健康に関する精緻なデータ分析より特定した課題に対し、睡眠セミナーや健康に配慮した食事の提供等多様な施策を展開するとともに、従業員アンケートを活用し、数値目標の達成に向け継続的に施策の実効性を高めている点
- (3) 長期ビジョンの実現に向けた求める人材像及び人的資本に係る中期的な計画を策定するとともに、働きやすく働きがいのある職場づくりを企図した「働き方改革プロジェクト」における全社的な議論や、「価値観表彰制度」を通じた「褒め合う」「認め合う」企業風土の醸成等、従業員の働きがい向上に注力している点



運動習慣



価値観表彰

⑤ 雇用創出及び社会経済的危機に起因する失業の防止又は軽減のためのプログラム - 地域
緊急対策プログラム

➤ セクター毎の案件数

製造業	1 件
卸売業	2 件
小売業	1 件
宿泊業	2 件
合計	6 件

融資額	8,307 百万円
-----	-----------

(2023 年 6 月 19 日現在)